

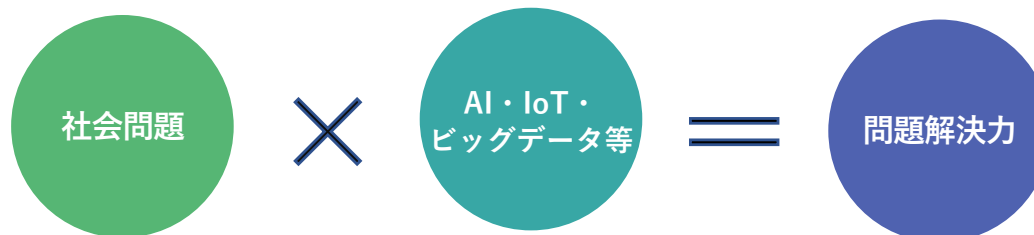
筑波大学理工学群社会工学類における数理及びデータサイエンス教育の展開（予定）

筑波大学理工学群社会工学類は、文科省「数理及びデータサイエンス教育の全国展開」の特定分野協力校（社会工学）として採択されました（2020年度～2021年度）。社会工学類は、特定分野協力校として、**AI・IoT・ビッグデータなどの観点に基づき、3つの活動を展開**します。

1. 社会工学類カリキュラムの分析・補強
2. 社会工学関連の教育・研究と連動可能な「データサイエンス・ケースバンク」の構築
3. 社会工学関連の教育・研究の推進

“社会工学”は、複雑に絡み合う社会問題のメカニズムを科学的・工学的に理解することによって、よりよい社会システムを提案できる人材を育成する**問題解決型の実践的データサイエンス**であり、**3つの特徴を有しています**。

1. 「社会現象理解」「データ解析」「制度設計」「実験と提言」「測定と評価」に至る一連のデータを活用した教育
2. 経済学、経営学、心理学、社会学などの文系科目と数学、統計学、オペレーションズ・リサーチ、情報工学、計算機科学、都市・環境工学などの理系科目を融合した文理融合型カリキュラムを取り入れた教育
3. 「社会経済システム」「経営工学」「都市計画」という3分野に広がる広範な研究教育ネットワーク



社会工学 = AI社会に対応した問題解決型の実践的データサイエンス

「データサイエンス・ケースバンク」構築のイメージ

